

# 塩津小学校からの報告

## 水生生物調査結果

調 査 場 所 名 ( No. )		香取神社付近	No.1				沓掛下流付近	No.2				No.3			
月	日	時	刻					月	日	時	刻				
		6月16日	10時20分					7月6日	14時00分						
天		気				晴れ				晴れ					
水		温 ( °C )		18.0 °C				21.0 °C							
気		温 ( °C )		26.0 °C				30.0 °C							
川		幅 ( m )		5.0 m				5.0 m							
河		川 名		大川				大川							
生 物		を 採 取 し た 場 所		川の左岸				川の右岸							
水		深 ( cm )		10.0 cm				30.0 cm							
流		速 ( cm / s )		15.0 cm/s				ゆるやか							
水 の よ う す		指 標 生 物													
I き れ い	1	カワゲラ類		○				○							
	2	ナガレヒゲラ・ヤマトヒゲラ クロツツヒゲラ類		○				○							
	3	ヒラタケゲロウ類		●											
	4	ブユ類						○							
	5	ヘビトンボ類													
	6	カガンボ類		○				○							
	7	サワガニ		○				●							
I・II 共 通	8	ウズムシ類													
	9	2以外のヒゲラ類		○				○							
	10	3、14以外のカゲロウ類		○				○							
II 少 し よ ご れ て い る	11	ヒラ外ロムシ類		○											
	12	シジミ類													
II・III 共 通	13	カワニナ		○				○							
III よ ご れ て い る	14	サホコカゲロウ													
	15	ヒル類													
	16	ミスムシ													
	17	モノアラガイ													
III・IV 共 通	18	サマキガイ													
IV 大 変 よ ご れ て い る	19	赤いユスリカ													
	20	イトミス類													
	21	ハナアブ類													
水 質 判 定 表	水 の よ う す の 区 分		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	
	1	みつかった指標生物の 種類の計 (○+●)	7	4	1	0	7	3	1	0	0	0	0	0	
	2	みつかった指標生物のうち 一番数の多くあった種類(●)	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	合 計 (1欄+2欄)		8	4	1	0	8	3	1	0	0	0	0	0	
判定結果(合計が最も大きい区分)		I				I									

## 塩津小学校の取り組み

塩津小学校は、長浜市北部に位置し、学区は南北に長く、琵琶湖畔から福井県境までにまたがる谷間ののどかな田園地帯に位置しています。調査を行った大川は、学区の中央を縦断するように流れ、鮎釣りのポイントとして多くの方に親しまれています。

3年生では、本校の「総合的な学習の時間」のテーマ、“We Love しおつ”のもと、1学期に「大川探検隊」として、大川の水生生物調査に取り組みました。調査は、大川中流の香取神社付近（塩津中地区）と、大川上流の下沓掛地区の2カ所で行いました。

## 調査結果と考察

＜第1回調査 6月16日（火）☀ 10:20～ 香取神社付近にて＞

水生生物で川の水の汚れがわかることを事前に学習し、私たちの学校近くの大川中流の塩津中と、塩津学区の一番北にある上流の沓掛では、どれほど水環境が違うのかを調べました。

予想として、上流の沓掛の方がきれいで、下流にいくほど汚れているだろうとみんなで考えました。理由は、学校近くの大川に来ているたくさんのつり客がゴミを落としているからです。

子どもたちにとって初めての調査となるため、水生生物に詳しい講師の先生を招き、「みずすまし」の活動の目的やねらい、水生生物の採取方法や注意事項などをお話していただきました。その後、それぞれが調査を開始しました。当日は、気温26℃、水温18℃、生物採取場所の水深が10cmと、活動しやすい状況で実施することができました。

調査地点の川幅は約5m、川の東側が少し河原になっていて、西側に行くほど深くなっています。また、西側は水の流れが速いため、川中より東側で調査を行いました。透き通った水で、肉眼では生物は確認できませんでしたが、講師の先生に教えていただいたように石を動かしたり水底をすくったりすると、思った以上にたくさんの水生生物がいて、子どもたちは驚いていました。採取した水生生物を種類ごとに分ける際には、はじめて見る生物ばかりなので、講師の先生と一緒に仲間分けをしました。講師の先生に聞きながら、「これ、トビケラだ!!」「これは、ナベブタムシ」などと、声をあげながら意欲的に取り組む姿が見られました。



## 第1回調査で見られた水生生物



○ヒラタカゲロウが1番多く見られました。  
○これらの他にも、ガガンボやカワニナ、サワガニなどが見られました。

## <第2回調査 7月6日(水) ☀ 14:00~ 沓掛下流付近にて>

前回と同様に講師の先生を招いて、調査活動を行いました。子どもたちがあまり行く機会のない沓掛で、大川上流の調査を行いました。気温は30℃、水温は21℃でした。前の週の台風とそれによる増水のため、予定していた地点より少し下流での採取となりました。前回と同様、それぞれで水生生物を採取し、その後種類ごとに分類しました。2回目の調査ということもあり、採取をする際には、前回教えていただいたことをよく覚えていて、意欲的に効率よく採取することができました。しかし、2日前までの大雨により水深が30cmと深く、水生生物も流されてしまったのか、なかなか見つけることができませんでした。



## 第2回調査で見られた水生生物



- ナベブタムシが、1番多見られました。
- また、4種類のヤゴがとれました。めずらしいカワゲラも見つかりました。

### 調査のまとめ

- ★同じ川でも、上流と中流ではすんでいる水生生物がちがうことがわかりました。
- ★大川の上流と中流は、すんでいる生き物からもきれいだということがわかりました。とくに上流は、きれいな水にすむ生き物が多かったです。
- ★1回目の大川中流の香取神社付近では、ヒラタカゲロウがたくさんいました。
- ★2回目の大川上流の沓掛では、サワガニとナベブタムシがたくさんいました。  
去年・おととしと見つけられたヘビトンボとヒラタカゲロウが、今年はいませんでした。来てくださった講師先生が、ヘビトンボは体が軽いから、台風の大雨で流されていなくなったのだろうと教えてくださいました。
- ★水生生物は、自分たちのすみやすい水かんきょうでくらしているのです。水がきたなくなるとすみにくくなることもわかりました。だから、水生生物がすみやすいように水をよごさないようにしていきたいです。

### 環境日記より

6月16日

- ・魚が3びきいて、水生生物もたくさんいました。とくに、1ばん多かったのは、ヒラタカゲロウのいななかまでです。こんなに小さな虫たちがいるなんて思いませんでした。
- ・調べてみて、見た目は何にもないかんじだったけど、石などをどけてよく見ると、よう虫みたいな虫がたくさんいました。カニがすごかったです。いろんな虫がいました。去年とくらべて、見つかった虫はあまりちがいませんでした。きれいな水には、こんな虫がいるんだなと思いました。

7月6日

- ・今日は、かとりじん社の時よりナベブタムシが多くて、びっくりしました。ほかには、サワガニが2しゅるいいておどろきました。メスとオスの見分け方を教えてもらいました。去年は、ヘビトンボがいっぱいたけど、今年はいなくてびっくりしました。